

## モニタリング結果報告書

施設名 : 県立東高根森林公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所 川崎治水センター

(平成22年度 上半期)

### 管理運営状況総括

#### 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	6月23日	月例報告・現地確認等
5月	6月10日	7月1日	月例報告・現地確認等
6月	7月9日	7月29日	月例報告・現地確認等
7月	8月10日	9月2日	月例報告・現地確認等
8月	9月10日	10月15日	月例報告・現地確認等
9月	10月8日	11月15日	月例報告・現地確認等

#### 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

##### (1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る  B : 提案どおり  C : 提案を下回る

##### (2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

##### <提案内容の概要>

###### 1. 利用者の平等な利用確保

①ユニバーサルサービス

②平等・公正な利用促進

###### 2. 賑わいのある公園づくり

①魅力的で人気の高いイベントの継続実施

②利用促進のための広報

③閑散期の利用促進

##### <実施状況>

###### 1.

①英語のパンフレットを製作し、パークセンターに設置。

②ルール違反者への口頭注意及び適地に配置した注意看板により来園者が誰でも平等に利用できる管理を実施した。

###### 2.

①窯焼きピザ体験会、森のコンサート、健康体操体験会、スタンプめぐり、自然観察会、フリーマーケット等の継続実施や勾玉づくり体験会等の公園にふさわしい催し物を実施した。

②川崎治水センター掲示板、自治会掲示板。情報誌、ミニコミ誌、専門誌、ホームページ、ブログ、園内掲示版等を利用し広報活動を実施。

③植物画教室、風景写真展等を開催し、閑散期の利用促進を実施した。

3 収支状況 (単位：千円) 注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	50,160	44,100	6,060	50,160	0
上半期計 (a)	24,375	20,192	4,183 (4,029)	19,925	4,450
下半期計 (b)					
4月	2,815	1,992	823 (0)	2,221	594
5月	4,284	2,930	1,354 (0)	3,587	697
6月	5,181	4,546	635 (0)	3,040	2,141
7月	3,790	3,297	493 (0)	3,988	△ 198
8月	4,001	3,684	317 (0)	3,693	308
9月	4,300	3,743	557 (0)	3,394	906
合計 (a+b)	24,375	20,192	4,183 (0)	19,925	4,450

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

収支差額がプラスになっている要因は、主に植物管理・アルバイト賃金・消費税・修繕費等の支出が計画に比して少なかったためである。植物管理については上半期は直営で作業を実施したために経費がかからず、アルバイト賃金については必要な時にのみ配置するなど工夫をし経費節減に努めた。人員配置としては事業計画に記載の通りとなっている。  
 結果として上半期は収入に対し支出が少なかったが、下半期には剪定作業など外注する業務の支出も増え、収支差は減少していくと思われる。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況:定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況:車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況:積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	177,980人	183,508人	△3.0%
下半期計 (b)	0人	0人	
4月	33,636人	35,482人	△5.2%
5月	37,589人	33,187人	13.3%
6月	31,092人	32,941人	△5.6%
7月	26,512人	28,795人	△7.9%
8月	22,441人	24,313人	△7.7%
9月	26,710人	28,790人	△7.2%
合計(a+b)	177,980人	183,508人	△3.0%

#### 利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

#### 5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	4	0	1	0	7	12
5月	1	3	0	0	9	13
6月	3	0	0	0	11	14
7月	2	1	0	0	8	11
8月	0	0	0	0	12	12
9月	2	0	0	0	14	16

#### (施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月	0	0	0
5月	0	0	0
6月	0	0	0
7月	1	0	1
8月	0	0	0
9月	0	1	1

#### 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・転落防止柵の一部破損の指摘	破損箇所を修繕した。
	・アジサイの虫食いの指摘	管理方針説明と手作業による除去
職員対応	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・動植物の採取禁止要望	禁止事項と禁止の主旨等を説明
	・異臭がする	公園外にて自殺者を発見、通報

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
4月29日	除草のボランティア作業中の女性が園路につまずき、転倒し頭部から出血した。救急車により病院に運ばれた。検査の結果異状無し。
5月13日	散歩中の女性がリード無しの犬にかまれたが、当事者同士で解決。事件発生を知らせる注意看板を設置した。
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

## 9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	来園者の平等・公平な利用を目指して日々運営管理に当たっているが、ルール違反者が後を絶たない。違反者に対する声のかけ方、注意看板等に工夫をし、少しでも違反者を少なくしてゆきたい。催し物についてもより一層参加者の意見に耳を傾け、工夫を加え、次回も参加したいと思われるような催し物にする必要がある。
施設所管課	上半期の公園利用者数は前年度をやや下回っているが、ほぼ平年並み。日常的な管理業務も概ね良好に実施された。 動植物の管理について利用者からの意見があり、公園としてどう考えていくのかを議論する良いきっかけとなった。この件についてはさらに詳細に検討することが望まれる。 新たな取り組みとして東高根森林公園の歴史性を利用したイベントも実施された。